



膵臓癌に対して重粒子線治療を行った患者さんへ

量子科学技術研究開発機構、九州国際重粒子線がん治療センターでは、膵臓癌に対して重粒子線治療による治療を行った患者さんの診療データ（後述）を用い、これから治療をする患者さんの治療方針を判断する一助として「その患者さんに重粒子線治療を行うことでどれぐらいの治療効果が望めるか」を推定する人工知能（AI）の開発研究を行います。データはすべて匿名化され、いわゆる個人情報や個人を特定できるデータが使われることはありません。また、この研究が行われることで、現在治療している患者さんの治療方針が変更されることはありません。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の【問い合わせ先：窓口】へご照会ください。

詳しいことをご知りたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。

- [研究課題名] 多機関共同研究による膵癌重粒子線治療の治療予後予測AI開発
[実施期間] 2022年8月12日～2026年3月31日
[研究機関] 量子科学技術研究開発機構（QST）および九州国際重粒子線がん治療センター
[研究代表者] 立花 泰彦（QST）
[研究の目的] AIにより膵癌重粒子線治療前・治療中に得られる画像や検査情報などから治療の予後を予測する技術を開発し、将来的に治療選択に役立つツールを開発すること。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる可能性がある方々：

2016年5月以降、上記研究機関のいずれかで重粒子線治療を行った膵癌の患者様

●利用する情報及び収集方法

電子カルテなどに保存されている、年齢や性別などの基本的データ、検査データ、診断や治療計画に使われた画像データなどを収集します。新たな質問や検査はありません。収集したデータは、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないようにして、パスワードをかけるなど安全管理に配慮した上でクラウドや郵送、または研究者が直接搬送する等の方法により相互に共有して、研究を実施します。

[個人情報の取り扱い]

お名前、住所など患者さんを直接同定できる個人情報を削除したデータを研究に用います。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報が外部に出ることはありません。（個人情報保護法及び各研究機関が定める個人情報保護の規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2023年5月30日または治療開始6ヶ月後までに下記までご連絡ください。この期間を過ぎた場合であっても可能な限りデータを解析から取り除きますが、既に解析に用いられ個人を識別できない状態の情報は取り除けない場合があります。なお、ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

千葉県千葉市稲毛区六川4-9-1

電話：043-206-3230

機関の長：QST病院長 石川 仁

【お問い合わせ先（研究責任者）】

分子イメージング診断治療研究部 立花 泰彦

九州国際重粒子線がん治療センター

佐賀県鳥栖市原古賀町 3049番地

電話：0942-50-8812

機関の長：センター長 塩山 善之

【お問い合わせ先（研究責任者）】

放射線科 寺嶋 広太郎